

項 目 名	入浴
表 題	入浴（家庭浴）週3回の取り組み
施 設 名	老人保健施設『たかのご館』（介護老人保健施設）

1 取り組みを始めた経緯、きっかけ

開設当初から介護において、排泄・入浴・食事については、座位を基本とし、入浴も機械浴ではなく利用者が長年なじんでいる家庭浴を中心として考えた。

2 取り組みを行った成果

- 週3回入浴することにより、尿臭がなくなり、入所者の爽快感を得ることにより、身体的な清潔だけでなく、入浴本来の楽しみをひきだす事ができ、表情が明るくなった。・週3回入浴することにより、皮膚を含めた全身状態の変化が分かり易く、処置等対応がスムーズになった。
- なじみの家庭浴を利用することにより、入所者の機械浴に対する不安感がなく安心して入浴していただけるようになった。
- 入所者の90%が座位で入浴ができることが可能になった。

3 拘束に至った経過や原因と考えられるもの

（評価）

利用者が長年なじんでいる家庭浴を利用することにより、入所者の精神的な不安も解かれ、満足感が得られ、安心して入浴していただく事ができた。

身体的障害があり1人で入浴できない方も職員が1対1で身体を支えながら声かけすることで、入所者の笑顔が生まれ、又痴呆により認知障害があってもなじみの家庭浴にすることでスムーズに誘導でき自然な動作で入浴が行へ混乱や不安感が軽減され、職員の仕事に対するやりがいが増えた。

（今後）

- 安心して入浴できるようになじみの家庭浴で、個別に対応する。
- 自己実現を目指し、在宅復帰への取り組み
- 職員の質の向上を目指しながらたゆまない努力の継続。
- 入浴の回数は必要な人に必要な回数を実施したい。